

## ■平成 30 年 6 月

### (1) シンポジウムの傍聴（18 日）

CSIS（戦略国際問題研究所）及び韓国国際交流財団が主催するシンポジウムに参加しました。「2018 韓国・米国戦略フォーラム～トランプ・金サミットの評価～」と題して、米国及び韓国の学者、専門家、オピニオンリーダー、政府高官が集い、歴史的な南北首脳会談及び米朝首脳会談、朝鮮半島における非核化及び平和的政権の可能性、そしてサミット外交の北東アジア地域への影響について考えを共有し、議論が行われました。

### (2) シンポジウムの傍聴（4 日）

CSIS（戦略国際問題研究所）及びアメリカ海軍研究所（US Naval Institute）が主催するシンポジウムに参加しました。「海洋の安全保障対話～革新と海兵空陸任務部隊～」と題して、アメリカの NDS（国防戦略）、NSS（国家安全保障戦略）が海兵空陸任務部隊（以下、MAGTF）にもたらす課題や機会等について、海兵隊幹部を中心に考えを共有し、質疑に答えるものでした。海兵隊の MAGTF に関連する中で、在沖海兵隊についての言及がありました。

## ■平成 30 年 5 月

### (1) シンポジウムの傍聴（2 日）

笹川平和財団米国が主催するシンポジウムに参加しました。2014 年から始まった安全保障に関する年次フォーラムで今回で 5 回目。政府、企業、学識者、シンクタンク関係者が集い、日米同盟の文脈からアジアの安全保障について考えを共有し議論するもので、「北朝鮮外交及び同国の核・ミサイル計画」、「笹川米国による米日韓三カ国図上訓練の結果」、「地域及び国際的安全保障環境への日本の関与」、「日本の核政策」、「米国と日本の国防政策の関係」、「サイバー上の脅威への日米間協力」について議論が交わされました。

## ■平成 30 年 4 月

### (1) シンポジウムの傍聴（26 日）

ブルッキングス研究所が主催するシンポジウムに参加しました。「21 世紀安全保障フォーラム～国家防衛戦略及びその世界的影響～」と題して、最近（今年 1 月）発表された国家防衛戦略の短期的な世界的影響について識者が考えを共有し議論が交わされました。

## ■平成 30 年 3 月

### (1) シンポジウムの傍聴 (29 日)

アトランティック・カウンシルが主催するシンポジウムに参加しました。「米海兵隊～ロバート B. ネラー総司令官と戦略的に見る～」と題し、ロバート・ネラー海兵隊総司令官が、進行役及び会場参加者と問答する形で進められました。

### (2) シンポジウムの傍聴 (19 日)

CSIS (戦略国際問題研究所) が主催するシンポジウムに参加しました。「2018 年米日安全保障セミナー～北朝鮮に関する次なる段階～」と題して、北朝鮮関連戦略の調整における日米同盟の道筋について、パネリストが討論を交わしました。

### (3) シンポジウムの傍聴 (8 日)

カーネギー国際平和財団が主催するシンポジウムに参加しました。「金-小渕サミットから 20 年後の日韓関係」と題して、1998 年以降、どのような政策や取り組みが成功または失敗したのかを踏まえ、日韓関係の長期的な進展を促進するための戦略を模索するため、識者が考えを共有し議論を交わしました。

## ■平成 30 年 1 月

### (1) シンポジウムの傍聴 (25 日)

ネラー総司令官が質疑に答える CSIS 主催シンポジウムに参加しました。1 時間のシンポジウムの前半 30 分は司会者がネラー総司令官に質問し答える形式、後半 30 分は会場からの質疑応答する形式でした。

### (2) シンポジウムの傍聴 (18 日)

カーネギー国際平和財団及びワシントン DC 日米協会が主催するシンポジウムに参加しました。「Japan in 2018」と題して、今後、日本及び日米同盟に影響を与えそうな政治面、経済面、安全保障面、社会問題といった広範な課題について識者が考えを共有し議論するもので、沖縄関係について情報収集しました。